

COME

おいでよ

ON!

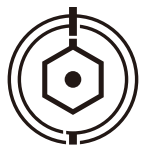
しらおい

北海道 SHIRAOI 白老町



豊かな自然と文化が 時を超えて交わるまち

白老町は、北海道の中でも、穏やかな気候の
のどかなまち。夏は涼しく、冬は雪が少なく、春
と秋には豊かな自然の彩りが楽しめる。そこ
は、縄文時代から人々の営みが続き、アイヌの
人々が暮らし続けてきた地。美しい山、湖、海と
ともに、人々は長い時間をかけてこのまちを築
いてきました。そして今、白老町は新しい時代
へと動き始めています。古くから息づく歴史や
文化を大切にしながら、人々の思いを込めて次
のステージへ。さあ、おいでよしらおい。前進す
るまちの魅力をたっぷりご紹介します。



町章

白老の「白」とカタカナの「オイ」を組み合わせで図案化。
円心は町民の団結力、六角形は産業の発展と豊かな町民
生活への願い、二重円は平和と文化の発展、上部中央の
突出部は未来永劫の繁栄をそれぞれ表現しています。

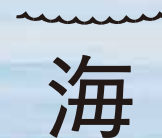
面積の約72%を森林が占め、周囲には樽前山、
ホロホロ山、白老岳などの山々が連なる白老町。
登山はもちろん、山間を通る四季彩街道では、四
季折々の美しい風景に出会えます。



ウポポイ(民族共生象徴空間)に面し、ポロトの森
に隣接する穏やかな湖・ポロト湖。登別温泉のほ
ど近く、摩周湖に次いで透明度が高いとされる
倶多楽湖。湖の美しさも、白老町の誇りです。



太平洋に面する白老町。虎杖浜は、上質なたら
この産地、温泉地として知られています。また、
このエリアのアヨロ海岸は縄文時代の遺跡が多
く、文化的にも貴重な価値ある地域です。



おいでよしらおい



歴史

安政3(1856)年、幕府から蝦夷地の警備を命じられた仙台藩が、白老に元陣屋を設置し、塩釜神社を建立したことが白老町の始まり。そこには、古くから先住の民アイヌが暮らしていました。



文化

ウポボイ(民族共生象徴空間)は、アイヌの歴史と文化に触れることができるナショナルセンター。また、飛生芸術祭など、地域に息づく文化とアートが融合する取り組みも行われています。



人

古くから地域に住み続ける人たちと、新たな思いを持って暮らす人たちが交流するまち。近年は移住者も増え、従来にはないお店や文化が生まれ、新しいストーリーが動き始めています。

目次

- P03-06 白老の自慢話
- P07-08 しらおいを元気にするキーパーソン
- P09-10 しらおいLOVEな12人の話が聞きたい!
- P11-12 しらおい観光SPOTラインナップ
- P13-14 しらおい名品逸品

- P15-16 データで見る白老のいま
- P17-18 白老の産業と祭り
- P19-20 しらおいのフカパリ
- P21-22 SHIRAOI MAP

白老ブルー

白老の

自慢話

01

倶多楽(クッタラ)湖 MAPC

支笏洞爺国立公園特別地域にある円形のカルデラ湖。環境省の調査により水質日本一、透明度は摩周湖に次いで全国2位に選ばれた美しい湖です。「倶多楽」はアイヌ語の「イタドリ(虎杖)が群生するところ」が語源といわれ、周囲は豊かな原生林に囲まれています。夏はボートやカヌー、秋は紅葉の楽しみも。登別温泉にもほど近く、休日のお出かけに最適です。

断崖の名瀑

白老の

自慢話

02

インクラの滝 **MAP01**

「日本の滝百選」に選ばれた白老の名瀑。木材を運搬する装置「インクライン」があったことから「インクラの滝」と呼ばれるようになりました。深い森から切り立った断崖へ水が流れ落ちる風景は迫力満点。落石などの危険があるため滝壺には近づけません。駐車場から15分ほど歩くと展望台があり、ここから滝の全景を観ることができます。

湯けむりの里

白老・虎杖浜温泉

白老町は100を超える源泉がある温泉郷。美肌の湯で知られる炭酸水塩泉、茶褐色の湯が特徴的な植物由来のモール泉など4種類の良質な泉質が湧出しています。中でも虎杖浜温泉は豊富な湯量を誇り、100%源泉かけ流しのフレッシュな温泉が自慢です。太平洋の絶景や豊かな自然を眺めながら心も体もリラックス。気軽に利用できる日帰り温泉施設も充実しています。



幕末のあしあと

史跡 白老仙台藩陣屋跡 **MAPK**

江戸時代末期の安政3(1856)年に仙台藩が北方警護の拠点として築いた陣屋跡。資料館では武士たちの労苦や当時の文化、先住民族アイヌと和人の関わりなどを学ぶことができます。ウポポイ(民族共生象徴空間)とともに訪れると、アイヌの歴史や文化をより深く理解できることでしょう。2022年10月、史跡および仙台藩白老元陣屋資料館が北海道遺産に選定されました。

しるおいを元気にする キーパーソン



©H.N.F.



北海道日本ハムファイターズ

根本 ねもと はるか 悠楓 選手

LINE

白老町民の 応援に応え、 ファイターズの エースを目指す

2020年にドラフト5位で北海道日本ハムファイターズに入団し、2022年は1軍で3勝3敗1ホールドの成績を挙げた白老町虎杖浜出身の根本悠楓選手。
同年11月24日、白老町役場に表敬訪問された際にお話を伺い、ファイターズのエースを目指しシーズンにかける思いを語っていただきました。

1年間ローテーションに入り 1軍レギュラーで投げ続ける

根本投手の白老愛はよく伺っていますが、初めに白老の思い出を話してもらえますか。

私は虎杖浜出身ですので、ムチャクチャ虎杖浜中をランニングしたことが印象に残っています。どうしても虎杖浜の思い出が強いですね。今の生活も落ち着いた静かな所が好きです。中学の時の全国制覇はたくさんの仲間といい思い出でしたね。中学に入った時から全国制覇がみんなの目標でした。結構きつい練習もありましたけど、優勝した時はとてもうれしかったです。

地元での二十歳を祝い集い(旧成人式)にも参加していただきましたが、二十歳になった目標、同世代に一言はありますか。

目標は1年間ローテーションに入り、1軍レギュラーで投げ続けることです。去年は一度投げたら中10日空いたり、一度2軍で調整したこともあり、今年はずっと一線で投げられるようにしていきたいです。同世代は、大学生または社会人。これからの生活を、それぞれが頑張ってもらいたいと思います。

プロはいつごろから目指しましたか。ちなみに希望球団はファイターズだったのですか。

小1からプロ選手になりたいと思っていました。本格的に思い始めたのは中3の時、全国レベルの高さを知りましたが、一方「やれないことはないな」と思っていました。一番入りたかったのは、やはり地元の球団ファイターズですね。

自分が活躍することが 白老のPRになると思っている

子どもたちに夢と希望を与えてほしいですね。自分もそういう選手に憧れ、プロになってからも目指しています。

野球少年たちにぜひアドバイスを。

楽しんでやるということが一番大事。好きじゃないと続きません。高校生ぐらいになると、上手くなっていくのが分かります。でも、白老も少年野球チームが少なくなり寂しいですね。虎杖浜タイガース…懐かしいです。

白老にはウポポイが誕生しましたが、訪れたことはありますか。

以前のアイヌ民族博物館はありますが、ウポポイにはまだ行ってないです。自分の周りには

結構知っている人がいますし、小中学校でアイヌ文化を学んでいますので、ぜひ行ってみたいと思っています。

ファイターズの新球場もすごいらしいですね。

投手としてはいろいろ考えるべきこともあります。町民の方にぜひ足を運んでもらいたいです。

楽しみにしています。ファイターズが北海道に誕生し、「地元球団」として応援にも力が入ります。出身地としても根本選手の活躍はうれしいです。

私は白老が大好きなので、自分が活躍することが白老のPRになると思っています。町民の皆さんの応援はすごくありがたいです。ファン感謝デーでも白老の中学生が来てくれて、とてもうれしかったです。今年は精一杯頑張っ、昨年以上の成績を残したいと思います。

ケガをせず長く活躍する選手になってください。根本選手の熱投を、白老町のみんなで応援しています。



HARUKA NEMOTO

2003年3月31日生まれ。
虎杖小学校-白翔中学校-苫小牧中央高校。
野球は虎杖浜タイガースで始め、2017年全国中学校軟式野球大会決勝で完全試合を達成し優勝。2020年ドラフト5位で北海道日本ハムファイターズに入団。昨季は開幕1軍入りを果たし、5月の巨人戦に先発。プロ初勝利に輝いた。成績は13試合(このうち先発は11試合)に登板、防御率2.52、3勝3敗1ホールド。

町内会活動を通じて、白老の町を元気にしたい

FILE 02

吉村 智さん

白老町町内会連合会会長

40年以上にわたり町内会の活動に携わり、地域のコミュニケーションづくりや防犯、防災などのサポートを続けてきた白老町町内会連合会会長の吉村智さん。これまで従事してきた町内会の取り組みや、住み続けてきた白老町への思いについてお話を伺いました。

かつては町の人々が力を合わせて盛り上げた町内会の行事

吉村さんは、穂別町出身。高校卒業後、いくつかの職を経て、1969年白老町に移住し、自動車学校の教官として勤務しました。1974年に結婚し、1979年に末広町に自宅を新築。翌年、末広第二町内会の子ども会副部長に就任し、以来、地域のさまざまな行事への協力を始めました。「妻が保育士だった影響もあり、子ども会の活動を始めました。登山やキャンプをしたり、お祭り子どもも神輿、夏休み肝試し…など、いろいろやりましたね。当時は80人ほどの子どもが集まったものです。」子ども会では2002年まで部長、監査役として務め、2003年から末広第二町内会副会長、2010年に会長に就任し、2011年から末広連

合町内会会長も務めました。「末広第二町内会のお祭りは白老町の中でも盛大で、300人ほどが参加して盛り上がりました。町内の人々が力を合わせて一つになり、高齢者にも若い人たちにもそれぞれ役割がある。何かアクシデントがあっても、みんなで乗り越えて、後で思い出話にしたものです。」吉村さんは2019年から白老町町内会連合会の会長を務め、白老町の町内会のまとめ役として活動してきました。「現在の町内会の数は100余り。それぞれの軒数にバラつきがあり、町内会に関心がない人も多く課題は多いですね。昔の町内会は通夜・葬式が大きな行事でしたが、近年は家族葬が増え少なくなりました。多くの町内会は、お祭りとラジオ体操、新年会、総会が主なイベントという感じです。」

高齢者も、子どもも、若い人も交流するような場を創出したい

町内会の大きな役割は、コミュニティのつながり、福祉、防災。「安否確認の声かけ、ゴミの管理、防犯や災害への対応など、町内会の必要性は数々あります。助けるのも、助けられるのも、義務なんですよ。」と吉村さんは言います。また、吉村さんは、2013年に地域の防災活動の中心となる「北海道地域防災マスター」に、2017年に避難所の運営・管理を担う「Doはぐマスター」に認定されました。「白老は、千島海溝の影響で震災が起きると津波が発生するリスクがあり、防災意識を高める啓蒙の機会を設けています。」と。長年、町内会などの活動に関わり、地域のために尽力してきた吉村さんに、取り組みへの



1946年生まれ。穂別町出身。高校卒業後、苫小牧の王子林産などの職を経て、1969年白老町に移住し、萩野自動車学校教官として勤務。1980年から末広第二町内会の子ども会副部長を務め、以来、町内会活動に積極的に取り組む。2011年末広連合町内会会長、2019年白老町町内会連合会会長に就任。北海道地域防災マスター、Doはぐマスターに認定。地域のための活動を精力的に続けている。

思いを伺いました。「白老に移住して約50年、少しでもお役に立ちたくて町内会の活動に携って来ました。自分の子どもたちが世話になった恩を感じています。町内会などの活動を通じて人と関わることは面白いですね。だから、いろんな役職を引き受けてしまう。知らない人に出会う楽しみがあるんですよ。」2020年にウポポイ（民族共生象徴空間）が開業し、観光面での活性化も期待される白老町。吉村さんは、町の魅力をこう語ります。「白老町には豊かな自然とウポポイ、温泉などの観光資源があり、白老牛やたらこ、卵、椎茸など食材も豊富。こうした魅力を役場と商工会、観光協会が連携してもっとPRしていくべきだと思います。また、商店街では高齢化が進んでいるのも課題。ずっと白老に住んでいる人は動きにくいけど、移住してきた人は白老

の魅力も課題もよく見えると思う。若い人たちに期待したいですね。」今も精力的に活動を続ける吉村さん。最後に今後取り組んでいきたいことについて話を聞いてみました。「担い手不足をカバーする手立てとして、町内会の合併は大きな課題。回覧板も回せない独居老人や高齢夫婦が多く、そういう人たちのサポートする必要があります。今は子どもが少なくなったけど、子どもたちの声が響く町になってほしい。高齢者も、子どもも、若い人たちも交流するような場を創出したいですね。」

しらおいLOVEな12人の話が聞きたい!



(有)蒲原水産 代表
蒲原 亮平
北海道 白老町虎杖浜出身



(公財)アイヌ民族文化財団 職員
山丸 賢雄
北海道 白老町出身



桔梗原農園 代表
桔梗原 光男
北海道 白老町出身



カフェ「ラナビリカ」オーナー
佐々木 美保
北海道 白老町出身



ブーランジェリーニシオ オーナー
西尾 圭史
北海道 厚真町出身



haku hostel+café bar 代表
菊地 辰徳
千葉県 船橋市出身

白老の「感幸」は生活の中にある

蒲原水産は虎杖浜で祖父が始めた水産加工会社で、私は三代目。先人たちが研鑽を重ねてつくりあげた伝統の「虎杖浜たらこ」を、新しい加工技術を取り入れながら守り続けています。白老青年会議所(JC)でまちや子どもたちの課題解決に取り組むようになり、経験も人脈も大きく広がりました。いろいろな団体から声をかけていただき、現在は白老JC理事長のほか、白老観光協会副会長、白老町商工会および白老町商工会青年部理事などを務めています。会長を務める虎杖浜竹浦観光連合会では「虎杖浜かにたらこ・温泉三大まつり」を開催し、約2万人を動員しました。こうした活動は時間もお金もかかりますが、まちに笑顔が広がり、人々の絆が強まる喜びは何にも代えられません。白老には短期観光では伝わらない、生活に溶け込むことで感じられる幸せ＝「感幸(かんこう)」があります。思いきって1ヵ月ほど滞在してみてください。ゆったりとした暮らしと、最高の人物との出会いが待っています。

白老からアイヌ語復興を目指す!

20歳から3年間、アイヌ文化を総合的に学ぶ事業に参加。アイヌ語の面白さに惹かれ、現在はウポボイのアイヌ語学習プログラムや、町内のアイヌ語初級講座を担当しています。アイヌ語学習プログラムには小さいお子さんから年配の方まで幅広い年齢の方が参加してくださり、「楽しかった」「勉強になった」などと声をかけていただくと、とても励みになります。アイヌ語初級講座には小学生も参加してくれ、一生懸命勉強している姿を見るとうれしくなります。アイヌ語復興は先住民族アイヌの大きな目標です。そのために学校教育にアイヌ語を取り入れたり、アイヌ語による保育園や学校を作るなど、まず白老から実現させていきたいと思っています。学生時代は白老を出たいと思っていたのに、社会人になって白老を離れてみると、地元が恋しくなりました。決して大きな町ではないけれど、白老にはまだ知らないことがたくさんあります。

原木から育てたしいたけは絶品です!

父がしいたけ栽培を始めたのは50年以上前のこと。僕は二代目として家業に入り、23年になります。スーパーでよく見かけるしいたけは人工栽培の菌床しいたけですが、うちのはミズナラの木に菌を打ち込んで育てる原木しいたけ。3ヵ月ほどで収穫できる菌床しいたけと違い、原木として使える木を育てるのに25年以上、しいたけを収穫するまで1〜2年かかります。原木の植栽から伐採、栽培、収穫まですべて自分の手で行うので、生産効率は良くないけれど、食べてもらえれば違いがわかります!原木しいたけは香りが高く肉厚で歯応えがあり、とてもおいしいんですよ。どんな調理も合うけれど、おでんやカレーに入れるのもおすすめです。来年夏には園内にキャンプ場をオープンさせる予定です。うちのしいたけをはじめ白老のおいしい食材を、BBQでたっぷり満喫してもらえたらいいですね。初夏の虎杖浜はウニも最高なので、ぜひ足を運んでください!

「好き」がいっぱい。だから住みやすい!

高校卒業後に白老を離れましたが、10年ほど前に帰ってきました。当時は起業などまったく考えていませんでしたが、できることをしているうちに雑貨やお土産を販売するカフェを始めることになり、気がつくと民泊や貸別荘を運営することになりました。人と木の縁に恵まれ、いろいろなことを仕事にできて、毎日とても楽しいです。最近は海や川でお気に入りの石をひたすら探したり、友人が直輸入している天然石にハマっています。私にとって白老が一番住みやすいところ。家族・親戚・友人もいて、自然が多く、人が少なく、好きな仕事もできるのが一番の理由です。天然温泉も白老の魅力のひとつ。地区によって泉質が違うのも面白いです。温泉施設はもちろん温泉付き住宅も多く、最近は温泉付き住宅を再利用した一棟貸しの民泊や別荘が増えています。私が経営する貸別荘も温泉付きなので、家族や友人で楽しんでほしいです!

胆振の食材を使ったパンが自慢です

大学を卒業後、就職した福祉施設で経験したパン作りの虜に。専門書を読み込み、道外のパン屋さんを巡るうちに「自分にしか作れないパンを作ってみよう」と思うようになり、白老でパン屋を開業しました。白老には妻の実家があり、何度か訪れる中で四季折々の自然や食の豊かさ、水質の良さに惚れ込んだのです。白老牛や海産物など、白老にはおいしいものがいっぱい。素材の良さはもちろんのこと、それぞれのお店が工夫を凝らして白老の食の魅力をアピールしています。当店で小麦粉やバターはできるだけ北海道産を使用し、添加物は使わず、子供からお年寄りまで安心して召し上がっていただけるパンを心がけています。胆振地方で収穫されるお米「なつぼし」や虎杖浜産の明太子などを使ったパンも作っているんですよ。目指すのは、食べた人の心がほぐれるような、また食べたいと思ってもらえるパン。大量生産ではなく一つひとつ丁寧に、自分たちが納得できるパンを作り続けていきたいですね。

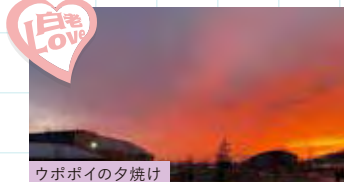
馬と暮らし、東京へ通う生活が実現!

馬を飼育しながらクライアントがいる東京に通える場所に住みたいと考えていたところ、講演の機会をいただき白老を訪れました。来てみると海(苫小牧・室蘭)、陸(鉄道)、空(新千歳)の接続が良く、道内の旅の拠点としても理想的。豊かな自然がすぐそばにあり、名馬を輩出している馬産地でもある。ここなら理想の暮らしができると思って移住しました。現在は、妻と娘、馬2頭、猫6匹と生活しています。「haku hostel+café bar」は、廃業した旅館をリノベーションしたカフェ併設のホステルです。馬の牧場も運営しており、2023年中に町内にクラフトビール工場の設立も予定しています。事業を行う上で意識しているのは、歴史や文化を大切にしながらも、過去の延長線上ではなく、今を起点として未来を描くこと。世界中からさまざまな旅人がhakuを訪れたり、hakuの元スタッフが町内で起業・定住したり、お客さま同士がつながったりと、面白いストーリーが日々生まれています。



自慢のたらこ

さらさらの粒子感と、すっきりとしたうす味が特徴。ぜひご家庭で楽しんでください。



ウポボイの夕焼け

何気ない時間、何気ない場所で見られるきれいな夕焼けに日々感動しています。



希少な原木なめこ

冷凍ではない生の原木なめこが直売所に並ぶのは秋のみです。ぜひ白老町に来た際にはお立ち寄りください。



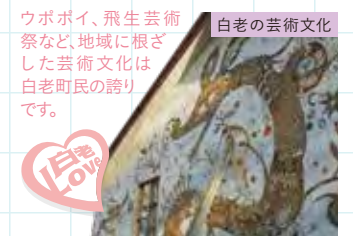
北海道ナンブ辣油

白老で暮らし中国四川省出身・王さんが作った辣油にほっき魚醤を加えた、香り・辛み・旨みの多文化共生辣油です!



ブーランジェリーニシオ

断然おすすめは、胆振のお米が入ったアズキブレッドと北海道産発酵バターのクロワッサン。人気です!



ウポボイ、飛生芸術祭など、地域に根ざした芸術文化は白老町民の誇りです。

白老の芸術文化

ずっとずっと住み続ける人、新たに移住してきた人、おいしい食をつくる人、心地いい居場所をつくる人、地域の魅力を発信する人、地域の暮らしをサポートする人、文化をつないでいく人…共通するのは、とにかく白老に一生懸命だということ。
どんな思いで、どんな活動をして、白老の魅力は何なのか？まちを面白く元気にする、白老LOVEな12人に話を聞きました。



Taro House かの家タロ邸 オーナー

菅野 晶

北海道 札幌市出身



NPO法人お助けネット 代表

中谷 通恵

北海道 函館市出身



白老おもてなしガイドセンター代表

岩城 達己

北海道 夕張市出身



(有)塚原鉄工所 / 白老町民生委員児童委員

塚原 光博

北海道 滝上町出身



地域ブログ「しらおいナビ」管理者

大江 智子

北海道 美幌町出身



地域おこし協力隊

鄭 延雪

中国 黒龍江省 佳木斯市出身

**蛇口をひねると
温泉が出てくる幸せ**

たまたま白老で見つけた「温泉付き住宅」の看板に惹かれて札幌から移住。源泉かけ流しの温泉と薪ストーブに癒される日々は格別で、気付けば10年以上住み続けています。白老は海産物や肉、卵など食材も豊富でどれもおいしい！雪が少なく夏も暑すぎず快適だし、ポロト湖や飛生川など自然の中で遊べる所もいっぱい。秋には町内でサケの遡上も見られます。温泉付き貸別荘「Taro House かの家タロ邸」を始めたのは、私たちが大好きになった白老の魅力をたくさんの人に知ってほしいから。観光せずにひたすらのんびりする人、マウンテンバイクで登別まで行く人、川下りをする人、食材がお目当ての人など、国内外からいろいろな旅行者がやってきました。みなさんの興味関心や過ごし方がわかると、白老の新たな魅力が発見できて、私たちも勉強にもなります。中には何度も来てくれるリピーターもいて、私たちが移住の決断をしたのは間違ってたかな、と思えてうれしくなるんです。

**町ぐるみで子育てを
サポートします！**

夫の転勤で8カ月の長女を連れて白老に移住した35年前、子育て仲間が欲しくてたまりませんでした。役場の保健師さんに誘われて育児サークルやミニコミ誌制作などを行ううちに仲間の輪が広がり、主婦11人でNPO法人「お助けネット」を立ち上げました。現在はボランティア提供会員50名が参加し、子育て支援事業や親子で楽しめるイベントなどを実施。「生まれてきてくれてありがとう！」「ともに育て合える喜びにありがとう！」と誰もがそう言い合える場でありたいと思っています。いずれは実家がある苫小牧に家を建てようと考えていましたが、ともに活動する仲間や応援してくれる行政・地域の方々の存在が心地よく、気がついたら白老に家を建てていました。わが子たちにとっても「白老が地元」。みんな地元愛が強い人に育ったようです。空港に近い、雪が少ない、食材豊富、自然体験多彩、町民活動が盛ん、温泉付き住宅物件が多数…北海道のセカンドライフには絶対に白老がオススメです！

**白老観光のプロが
ご案内します！**

「白老おもてなしガイドセンター」は、白老町のガイド人材養成講座を修了したメンバーが立ち上げた機関で、白老の魅力を有償ガイドがご案内しています。白老の四季折々の観光スポットやアイヌ文化、食材王国しろおいが誇る名産品、温泉巡りなど、お客さまの要望に合わせてご案内するコースはさまざま。中でも大人気なのが、春の水芭蕉や秋の紅葉が楽しめるポロトの森散策コース。鮭の遡上コースは遡上からの産卵まで目の前で観ることができ、予定時間を超えることもしばしばです。「ガイドのおかげでよく理解できた」「感動した。また白老にきたい」など、感謝の言葉やお礼のお手紙が励みになります。48年前に就職して白老町民になりましたが、今や移住者の意識はまったくありません。白老は自然も食材も豊かで、温泉や都会とのアクセスも抜群。スギ花粉も梅雨も台風もなく、良いことづくめです。町民も良い人ばかりで、思いやりとぬくもりがある良い町ですよ。

**白老八幡神社の
大鳥居を作りました！**

白老町内で父が創業した鉄工所を継ぎました。5人で切り盛りする小さな会社なので、頼まれればできることは何でもやります。図面を書いたり見積を作ったり、工場内での作業はもちろん、時には現場にも足を運びます。2004年に建立された白老八幡神社の大鳥居も当社が手がけました。高さ14m・幅19mの大きさは全国屈指といわれ、日没後にはライトアップされて幻想的な姿が浮かび上がります。白老町民生委員児童委員、苫小牧人権擁護委員として16年間、地域の福祉活動にも携わっています。地域の細やかな仕事も依頼されれば可能な限り全力を尽くし、人と人とのつながりを大切にしたいと思っています。白老は16,000人弱の小さな町ですが、海・山・川の豊かな自然と、先住民族であるアイヌとも関わりが深く、ウポポイには東北以北初の国立博物館「国立アイヌ民族博物館」があり、アイヌ文化を理解するきっかけになると思います。

**町民目線のリアル白老を
ブログで発信！**

白老の温泉付き住宅に住んでいた両親を頼り、当時2歳だった息子と2人で白老に移住。息子が近所を歩けばお菓子を抱えて帰ってきて、人が優しい町だと実感しました。都会では便利な生活をお金で買えるけど、白老ではそうはいきません。でもそれを補って余りあるコミュニティこそが白老の強みです！さらに、大自然がすぐそばにある、冬は雪が少なく寒さが厳しくない、いつでも温泉に入れる、何を食べてもおいしい、空港が近い…など、魅力は数えきれません。現在は医療福祉の仕事をしなが、白老町の情報発信ブログ「しらおいナビ」を運営しています。自分で食べたり体験したりして感じた「リアル白老」を町民目線で発信している点が特徴です。白老町民はもちろん観光や移住を希望している人、物産展やECサイト、各種メディアで白老を知った人などさまざまな読者が見てくださり、人を軸とした地域づくりにつながっていればうれしく思います。

**白老の魅力を
世界中へ伝えたい！**

苫小牧駒澤大学(現・北洋大学)でアイヌ文化を勉強し、卒業後一時帰国。2019年、知人の紹介で白老町地域おこし協力隊に入りました。現在は白老観光協会に働きながら、SNSで海外向けの情報発信やイベント企画を行っています。私は人と話すことが大好き。人との出会いの数だけたくさんの面白さがあります。白老は森・山・湖に囲まれ、美しい海、豊かな自然があり、山の幸・海の幸に恵まれた食文化やアイヌ文化を体感できます。人々に感動を与える白老の魅力を、たくさんの方に感じてもらいたいです。白老の魅力を外国人の視点から発信するSNSを見て、白老を訪れてくださった海外のお客さまも多く、とてもうれしく思います。白老について学び、情報発信するうちに、私自身が白老の豊かな自然や人の温かさに魅了され、ついに家を買って定住することにしました。これからは外国人労働者が地域で活躍する時代になりますが、多文化共生の白老では絶対に外国人が力になれると思います。



白老の海鮮

新鮮なお刺身が手頃で絶品！わが家の週末の食卓は手巻き寿司の確率が高めです。



白老町子育てふれあいセンター

子育て応援はお任せ♡全力でサポートします！まずはお気軽にお問い合わせを。



ポロトの森

映画のロケ地にもなった美しい風景に癒されます。紅葉の季節がおすすめです！



ポロト湖のカヌー

静かなポロト湖でのんびりカヌーを漕ぐひととき。白老の大自然を体感できます。



地域ブログ「しらおいナビ」

私のしらおいLOVEは、ブログ「しらおいナビ」に詰め込んでいますのでぜひご覧ください！



荒井工芸館

独創的な彫刻が埋め尽くす圧倒的異空間。想像力をふくらませて見学するのが楽しいです。

01



01

ウポポイ

(民族共生象徴空間)



先住民族アイヌの歴史や文化を深く知ることができる「国立アイヌ民族博物館」、体験型フィールドミュージアム「国立民族共生公園」、先住民族アイヌの慰霊施設などがあるナショナルセンター。園内の施設では、アイヌ古式舞踊や伝統芸能体験、食文化体験や伝統工芸品の製作体験など、アイヌ文化を体感できるプログラムが多数実施されています。

北海道白老郡白老町若草町 2 丁目 3
TEL 0144-82-3914

MAP①

営業時間 9:00~18:00 (時期により閉園時間の変動あり)
定休日 月曜 (祝日の場合は翌日以降の平日)、年末年始
詳しくはウポポイ公式HPをご確認ください。
料金: 大人 1,200 円、高校生 600 円、中学生以下無料
<https://ainu-upopoy.jp>

02



02

ポロトミンタラ

白老駅北観光インフォメーションセンター



白老町の観光ならなんでもおまかせ! JR白老駅やウポポイの近くにあり、白老町の観光スポットやグルメなどの情報収集、各種体験プログラムやレンタサイクルの受付などがすべてここで完結します。軽食やドリンク、白老町および胆振の特産品も販売しており、休憩やお土産選びにもぴったり。広い駐車場と24時間利用可能なトイレがあり、荷物の一時預かりにも対応しています。

北海道白老郡白老町若草町 1 丁目 1-21 号
TEL 0144-82-2216

MAP①

営業時間 9:00~17:00
定休日 年末年始 (12/29~1/3)、冬季のみ月曜 (観光案内所のみ営業)
<https://shiraoi.net/porotomintara>

03



03

白老キャンプフィールド ASOBUBA



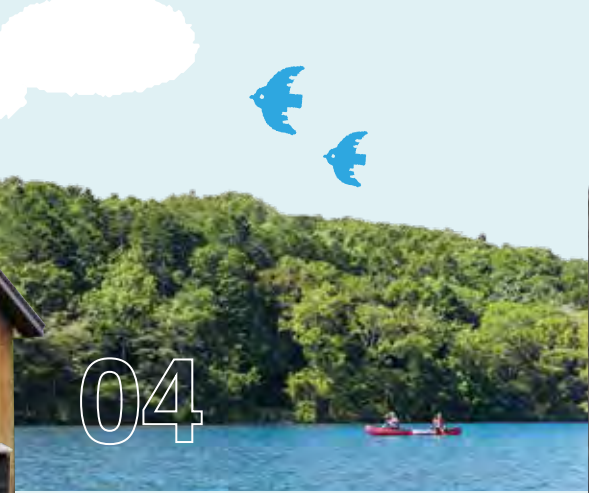
「本気で遊ぼう。」がコンセプトのキャンプ施設。無料シャワーやホテルライクなトイレなど、快適にキャンプを楽しめるサービスが満載です。初心者やファミリー向けのオートサイト、白老川のほとりでブッシュクラフトができるワイルドキャンプサイトなど、テントサイトも多種多様。キャンプ帰りには、白老町内の温泉で疲れを洗い流すのもおすすめです。

北海道白老郡白老町森野 98-1

MAP②

営業時間 チェックイン 12:30 チェックアウト 11:00
料金 中学生以上 2,000 円 小学生 1,000 円 未就学児無料
※サイト利用料別途
<https://asobuba.com>

04



04

ポロト湖



ポロト湖はポロト自然休養林の中にある周囲約4kmの湖。4月~9月はレンタルカヌーのサービスがあります。水上散歩を楽しみながら自然観察したり、湖畔に建つウポポイの野外ステージから聞こえるアイヌ語の歌に耳を澄ませたり、他にはないカヌー体験ができます。湖が氷に覆われる冬はワカサギ釣りのシーズン。釣ったその場で天ぷらにする楽しみが待っています。

北海道白老郡白老町若草町 2 丁目 2

MAP⑥

ポロト自然休養林内インフォメーションセンター
TEL 0144-82-6755
営業時間 9:00~17:00
定休日 火曜
料金 2~3名乗りカヌー 1時間 1人 1,000 円
(2人目からは 1人につき 500 円) パドル、ライフジャケット含む
<https://shiraoi.net/play/canoeing>

しらおい観光SPOT

ラインナップ





05



06



07

05

しらい創造空間 蔵



大正時代に建てられた築100年を超える大小の石蔵を、多目的ホールやギャラリー、イベント会場として活用。1年を通してコンサートや演劇、映画上映、ワークショップなどさまざまなイベントが開催されています。1階にある昭和レトロな喫茶店「くらと」はWi-Fiや電源が使用できるので、ノマドワークにもぴったりです。

北海道白老郡白老町本町1丁目7-5 **MAP③**
TEL 0144-85-3101
喫茶店「くらと」 TEL 090-9516-2719
営業時間 月・金曜 11:30~18:00 木・土・日曜 10:00~18:00
定休日 火・水曜
<https://shiraoi-kura.com>

06

アヨロ温泉



太平洋に面した虎杖浜にある日帰り温泉。加水・循環・消毒を一切行わない純源泉かけ流し温泉(一部浴槽は加水あり)を、銭湯価格で楽しめます。露天風呂では海の波音を聴きながら、心身ともに癒されるひとときを。虎杖浜名産のたらこを使ったパスタやチャーハン、たらこ丼など、地元グルメも多彩にラインナップ。オーシャンビューのウッドテラスでは食材を持ち込んでバーベキューも楽しめます。

北海道白老郡白老町虎杖浜 154-2 **MAP④**
TEL 0144-87-2822
営業時間 8:00~21:00
定休日 年中無休
料金 中学生以上 480円 小学生 140円 小学生未満 無料
<https://ayorospa.com>

07

かに御殿



国道36号線を走ると見えてくる巨大なクマとサケが目印。ずらりと並ぶ水槽に入ったカニやホタテ、アワビ、ツブ、ウニなどの新鮮な海産物は、その場で味わうことはもちろん、全国発送も可能です。レストランには一番人気の「かにめし」をはじめ、約70種類のメニューがラインナップ。売店にはお土産にぴったりの海産物や菓子、民芸品などを豊富に取り揃えています。

北海道白老郡白老町竹浦 96-2 **MAP⑤**
TEL 0144-87-3887
営業時間 売店 9:30~16:30 レストラン 10:00~14:30 (L.O.)
※閉店時間は変動あり
定休日 年中無休
<https://kanigoten.co.jp>

08

ナチュの森



低刺激スキンケアメーカー「ナチュラルサイエンス」と「ナチュラルアイランド」が運営する工場と庭園の融合施設。ビューティーケアサロンや直営ショップ、ナチュラルガーデンなど、多彩なスポットが満載です。親子で楽しめる自然と科学のミュージアム「森の工舎」は、旧虎杖中学校を再生した設計デザインにもご注目。カフェやレストランでは倶多楽湖の湧水や地元の食材を使ったメニューが楽しめます。

北海道白老郡白老町虎杖浜 393-12 **MAP⑥**
TEL 0144-84-1272
営業時間 10:00~17:00
定休日 水・木曜 (祝日の場合は営業)、年末年始
<https://nachunomori.jp>



白老に行ったら、どんな体験ができるのか?
アイヌ文化も、アウトドアも、温泉も、お土産も、集いの空間も、観光案内も!
見逃せないハズレなしのおすすめスポットを厳選してご紹介します。



08

たまごプリンソフト

マザーズプラス MAP⑦

「マザーズプラス」は白老町内の養鶏農場が運営するカフェ。天然飼料で育てた鶏の産みため卵を使った濃厚なプリンと、さっぱりとした甘さのソフトクリームを一度に味わえます。



石窯パン

マルコーブ MAP⑧

食材はもちろん新も道産にこだわり、天然酵母を使って石窯で焼き上げる素朴なパン。小高い丘にひっそり佇む小さなお店ですが、早い時間に売り切れることも多い、隠れた名店です。



ティッシュケース

三和製箱 MAP⑨

全道全国の魚箱を製造している白老町内の箱メーカーが、にしんの箱をアレンジしたティッシュケースを製作。地域の産業を新たな形で表現しています。グランマにて販売。



胆振のお米が入ったアズキブレッド

ブーランジェリー ニシオ MAP⑩

道産素材を使った本格的なバゲットやクロワッサン、菓子パンなどがずらり。近郊産のお米と十勝産小豆を使った「アズキブレッド」は売り切れ必至の人気No.1商品です。

米老菓 (まいろうか)

ベーカリーショップ ななかまど MAP⑫

道産米粉と白老町産の卵を使ったラングドシャでチョコをサンドし、ポロト湖に浮かぶ丸木舟をイメージしたアーモンドをトッピング。一度食べたら「また白老に参ろうか」と思うかも？



しろおい 名品逸品

しろおいで買える!

ズラリ集まった個性豊かなアイテムたち。

地元の食材を使ったスイーツや加工品、工芸品、コスメ、面白グッズまで、

ユニークな魅力がいっぱいです。

白老に来たら、絶対ゲットしてください!

濃厚ソフトクリーム

ポロトミンタラ MAP⑬

お隣の登別市で牧草のみで育てた乳牛のミルク「のぼりべつ牛乳」を使った一品。濃厚なのに軽い口当たりが人気。白老の観光拠点「ポロトミンタラ」内で食べられます。



フルーツクレープ

キンペンカフェ

北海道産生乳とフルーツをたっぷり使ったクレープ。MAP⑭
店内では白老牛やポロト豚などのご当地肉を使ったメニューも味わえます。MAP⑮



エゾシカ肉の味噌煮

ハンター女子のジビエ MAP①

臭みがなくやわらかな白老町産のエゾシカ肉を使用し、コクのある味噌煮に仕上げました。エゾシカが多い白老町では、狩猟免許を持つハンター女子も活躍しています。



おやき

グランマ MAP⑨

元気なおばあちゃんたちが腕を振るう名物食堂の特製おやき。牛しぐれやキーマカレー、きんぴらなど5種類あります。冷凍なので電子レンジで温めるだけでアツアツのおいしさ!

アクセサリー

HOKA×HOKA MAP④

白老の自然の恵みを生かしたアクセサリーや雑貨などを製作。海岸で採れた石や貝殻、季節の花のドライフラワーなど、白老に息づく自然を肌で感じる作品がいっぱいです。



天然きのご鍋

ファミリー居酒屋 河庄 MAP⑬

人気居酒屋「河庄」の店主自ら山で採ったきのこがたっぷり!川魚や山菜など白老の旬の食材を使った料理からおつまみ、串物、お食事まで、豊富なメニューも評判です。



タマゴカステラ

マザーズプラス MAP⑦

白老の自然の中で育った鶏の産みため卵をたっぷり使用。鶏卵・砂糖・小麦粉・米飴・ザラメのみでつくるシンプルなおカステラは、濃厚な卵の味わいがしっかりと生きています。





アイヌ文様 ネックレス

亜細亜

MAP④

アイヌ文様をモチーフにしたハンドメイドのアクセサリーや雑貨を販売する「亜細亜」。繊細なデザインのシルバーネックレスは、胸元にさりげないアクセントを添えます。



北海道お土産グランプリ
North Wave Selection 2022-2023 金賞

和風ショコラ

ペーカリーショップ
ななかまど

MAP⑫

チョコレート風味の生地の中身は自家製あんこ。なのにチョコレートのような食感と味わいが不思議なおいしさ。和と洋が融合した新感覚のスイーツです。



アイヌ手工芸作品

アイヌ工芸作家・河岸麗子氏の作品。先住民族アイヌの刀掛け(エムシアツ)の編み方で制作したスマホストラップはモダンな色使いで、現代のファッションにもよく映えます。



化粧品

カレンデュラシリーズ

ナチュラルアイランド

MAP⑥

虎杖浜にある自社農園で有機栽培したカレンデュラ(キンセンカ)を抽出したオイルを使ったコスメシリーズ。肌をいたわり、しっとり優しくおします。

コーヒースイーツ

はしもと珈琲館

MAP⑯

自家焙煎の豆を注文ごとに挽いてサイフォンで淹れるコーヒーが自慢の喫茶店。コーヒーゼリーやモカプリンも香り高いコーヒーの味わいが生きていて、リピーターが絶えません。

まいこの マドレーヌ

MAIKO'S BAKE MAP⑭

ベーキングパウダーなどの添加物を使用せず、白老産の卵をはじめ北海道の食材にこだわって作る優しい味わい。娘のために母が愛情こめて作ったお菓子が原点の洋菓子店です。



大漁旗グッズ

大漁HUG

MAP①

使われなくなったカラフルな大漁旗をバッグやシャツ、雑貨などにリメイク。白老町在住の陶芸家・前田育子氏が制作を手がけ、売上の一部を海洋保護活動に寄付しています。



木彫り作品

北海道産の木を使用し、手彫りで仕上げた繊細な木彫り。ヒグマやシマフクロウなどをいきいきと表現した作品が魅力です。

オハウ

かふえピラサレ

MAP⑮

白老アイヌ協会が運営する「かふえピラサレ」が提供する「オハウ」はアイヌの伝統食。昆布だしをベースに白老産の鮭や野菜をたっぷり使った、滋味あふれるおいしさです。



ノンシュガー 生チョコレート

green owl

MAP⑨

白老町在住のロシア人ショコラティエが世界中の厳選素材を使い、非加熱で手作りしています。自然な甘さの秘密はハチミツ。乳製品不使用なのでアレルギーの方も安心です。グランマにて販売。



ゆジェラート

花の湯温泉

MAP⑱

低温殺菌牛乳の「のぼりべつ牛乳」に、自家栽培の野菜や道産フルーツを加えてつくる濃厚ジェラート。虎杖浜「花の湯温泉」の敷地内にあります。



若草団子

若草本舗

MAP①

白老町内に自生する天然よもぎのさわやかな香りつつぶあんの上品な甘さが魅力の和スイーツ。2011年には天皇陛下にも献上された自慢の一品です。



全国商工会連合会主催
「buyer's room2021」審査員特別賞

北海道ナンブ辣油

ラナビリカ

MAP⑯

白老町内のカフェ「ラナビリカ」が苦小牧の調味料メーカーと共同開発。15種類以上のスパイスを使った本格的なラー油に苦小牧産ホッキ貝の魚醤を組み合わせた、香り高い一品です。





データで見る

白老の いま

白老ってどんなまちなのか、数字でチェック！
自然環境や人口、観光客数など、
いろいろなデータを集めてみました。
知らなかったまちのアレコレが、
だんだん見えてくる。
リアルな白老の“いま”を見てください！



総面積

森とともに 暮らすまち

425.64km² (令和4年3月31日国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」)

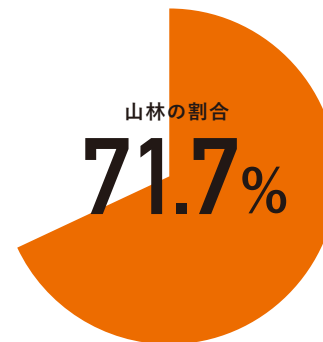
山林

305.17km²

その他

120.47km² (令和3年1月1日)

白老町は総面積の7割以上を森林が占める「森のまち」。ポロト湖畔から豊かな森が広がる「ポロト休養林」には遊歩道やキャンプ場があり、市街地のすぐそばで大自然の息吹を体感できます。



宅地	9.60 km ²	(2.3%)
畑	8.56 km ²	(2.0%)
その他	48.62 km ²	(11.4%)
牧場	13.86 km ²	(3.3%)
池沼	5.25 km ²	(1.2%)
原野	27.35 km ²	(6.4%)
雑種地	7.23 km ²	(1.7%)

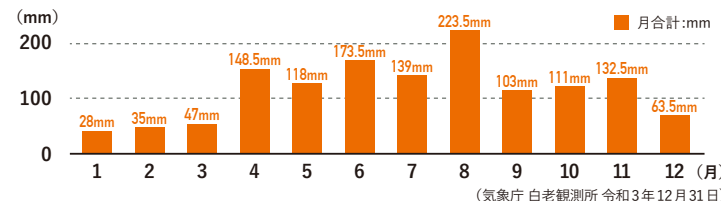
(税務課「固定資産の価格等の概要調書」)



雪が少なく 夏はさわやか

年間
降水量 1322.5mm

太平洋に面した白老町は穏やかな海洋性気候で、一年を通じて平均気温8.7℃と比較的温暖的な気候に恵まれています。夏はさわやかで過ごしやすく、冬の年間最深積雪量は平均20cm前後。北海道で最も降雪が少ない地域です。



(気象庁 白老観測所 令和3年12月31日)

平均気温 8.7℃ 最高気温 33.3℃ 最低気温 -15.5℃ 平均風速 2.9m/秒 最深積雪 28.0cm



温泉やグルメ アウトドアが人気

観光
入込客数 1,684,073人

宿泊だけではなく日帰りでも温泉やご当地グルメを楽しむ方が増えています。レイクカヌーやトレッキング、キャンプなどのアクティビティを求めて来る方が多いのも、自然豊かな白老町らしい特徴です。

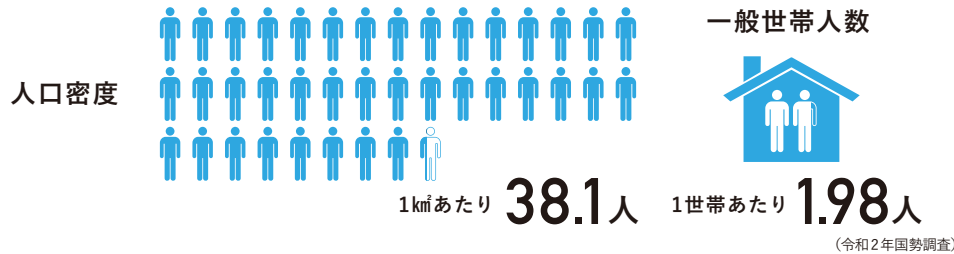
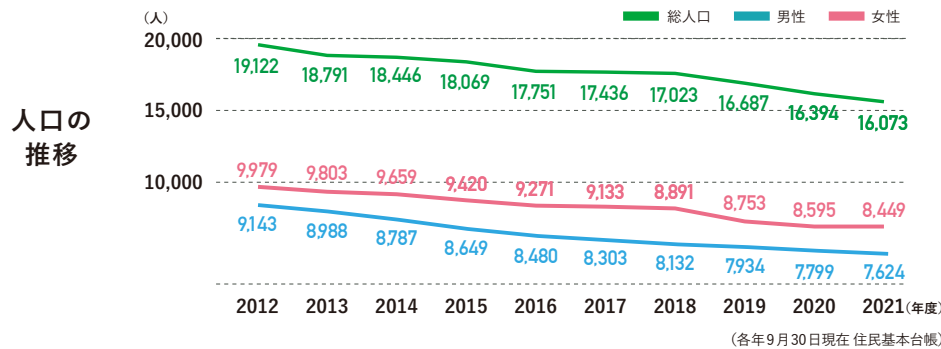
日帰り 1,617,065人 宿泊 67,008人
道外 135,223人 道内 1,548,850人

(令和3年度実績)



地元民と移住者の共創に期待が高まっています

多くの地方都市と同様、白老町の人口はゆるやかな減少傾向にあります。近年はウポイ(民族共生象徴空間)開業に伴う交流人口の増加も見られます。ここ数年は移住者を継続的に受け入れており、移住者による新規出店の実績も。地元民と移住者が共創し、まちを盛り上げる気運が高まっています。



子どもから大人まで幸せに暮らせる環境を

町内の医療施設は多くはありませんが、近隣市町と連携し、安心して暮らせる医療体制を整えています。教育機関も認定こども園から高校まであり、近隣の専門学校や大学への進学実績も多数。文化・スポーツ施設や公民館、児童クラブなども各地域にあり、町民同士の交流も盛んです。



医療



(令和3年度末)



消防・警察



(令和4年10月1日)



教育



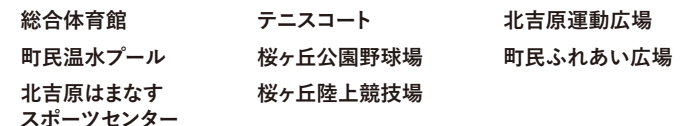
(令和4年12月1日)



図書館



体育施設



白老の 産業と祭り



SHIRAOI
INDUSTRY
and
FESTIVAL

海・山・川・森の豊かな自然に恵まれた白老町。
豊穡の地と上質な水が四季折々の食材を育み、人々の努力が数々の名産品を生み出しています。
これらの食材は、町内だけではなく、ふるさと納税で楽しむこともできます。
そして、人々の営みから生まれた祭り文化も白老町の大切な宝物。
世代を超えた笑顔の輪が、町いっばいに広がっています。

漁業・ 水産加工業

Fishery and
Seafood processing

太平洋に面した白老町は古くから漁業が盛んで、毛ガニやホッキ貝、鮭、マツカワガレイなど、一年を通じて種類豊富な魚介類が水揚げされています。中でも新鮮な前浜産スケトウダラを加工して作る「虎杖浜たらこ」は全国的にも広く名を知られております。

虎杖浜たらこ

白老町の最西部に位置する虎杖浜は豊かな漁場に恵まれ、大正時代から水産加工業が栄えてきました。冬の前浜でとれた質の良いスケトウダラを新鮮なうちに加工し、きめ細やかな粒感が際立つように仕上げた「虎杖浜たらこ」は、贈答品としても親しまれています。



※「虎杖浜たらこ」商標登録出願中(令和5年3月)

農林 畜産業

Agriculture,
Forestry and
Livestock industry

戦後に北海道で初めて導入された黒毛和種「白老牛」、鶏の飼育から採卵、製品化まで町内で行う「たまご」、北海道内トップクラスの生産量を誇る「しいたけ」など、白老町は農林畜産業も盛んです。



商標登録第5043387号

白老牛

霜降りのバランスが良い上質な肉質、赤身の深い旨みと脂のまろやかな甘さが際立つ「白老牛」。全国的にも高く評価されており、2008年に開催された北海道洞爺湖サミットをはじめ、世界のVIPもうならせています。

たまご

白老町は、北海道でも有数のたまご産地です。遺伝子組換えをしていない厳選飼料、ミネラル豊富で良質な天然水を利用し、大切に育てた鶏のたまごは、毎日食べたい安心のおいしさです。



しいたけ

白老町は北海道のしいたけ三大産地のひとつ。肉厚でぷりぷりとした食感、風味豊かで凝縮した旨みは、一度食べるとやみつきになる味わいです。



祭り

Cultural festival

地元民が開催するお祭りは、アイヌ文化、そして町の新しい文化をテーマに行われています。白老町ならではの多彩なプログラムが盛りだくさん。ぜひお楽しみください。



BikeJIN祭り @北海道・白老

ツーリング情報誌「BikeJIN」が主催するバイクのビッグイベント。全国各地から大勢のライダーが集結し、バイクの試乗会やステージイベントなどで盛り上がります。地元の特産品ブースもあり、バイク好きはもちろん一般来場者も楽しめます。

しらおいチェブ祭

アイヌ語で「カムイチェブ(神の魚)」と呼ばれるサケの豊漁と漁の安全を祈願し、海の恵みに感謝する秋の恒例催事です。先住民族アイヌの伝統芸能やアイヌ伝統料理チェブオハウなどの販売、サケのくじ引きなど多彩なプログラムが開催され、大いに賑わいます。

飛生芸術祭



旧飛生(とびう)小学校を拠点に活動する飛生アートコミュニティが毎年9月に開催するイベント。木造校舎と周囲の森を展覧会場として、アートや音楽、先住民族アイヌの伝統芸能、ダンスパフォーマンス、市民とつくる演劇などを披露します。



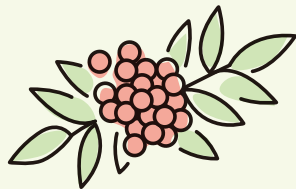
白老八幡神社 例大祭

毎年9月に白老八幡神社で行われる例大祭。道内各地から約50組あまりのYOSAKOIソーランチームが集まり、町内のメインストリートから境内まで華やかに彩る「YOSAKOI大乱舞」は必見です。露天やステージイベント、こども相撲やカラオケ大会などもあり、町内外からたくさんの方が訪れます。

しらおいの フカボリ

さらにもっと白老のことがわかる豆知識集。
きっと誰も知らない、まちのディープな
情報を集めました。これを知っていたら、
かなり白老通。「へ～そうなんだ」と思える
フカボリ情報をご紹介します。

○1 しらおいの シンボル



町の木

ナナカマド (昭和52年制定)

自然を愛する思想の普及と、限りなく発展する郷土白老町の姿を象徴する木として決定しました。



町の花

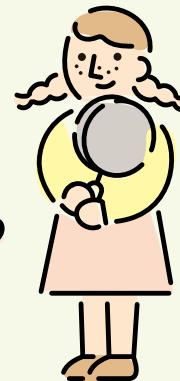
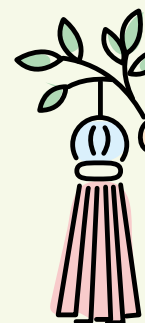
エゾヤマハギ (昭和53年制定)

花を愛し郷土を愛する心を育むため、清潔な美しい郷土白老町の象徴として決定しました。

Four Sisters

Sendai

Quesnel



○3

しらおいの姉妹都市

昭和56年5月8日提携

宮城県 仙台市

白老町には史跡白老仙台藩陣屋跡があり、仙台市とは歴史的に深いつながりがあります。昭和56年5月に歴史姉妹都市の提携を結んで以来、姉妹都市交流、スポーツ交流、青少年や高齢者の相互間交流などを推進。仙台市の有名な七夕飾りや歴史的文化財の展示なども行い、両市町の絆を人づくりやまちづくりに生かしています。

昭和56年7月13日盟約

カナダ国BC州 ケネル市

ケネル市は、カナダ国バンクーバー市の北約670kmにある小都市。白老に工場がある旧大昭和製紙(現日本製紙)の関連企業がケネル市にあったことが縁となり、昭和56年7月に国際姉妹都市盟約を締結しました。以来、青少年派遣交流事業などを通じて子どもたちを中心に相互理解を深め、国際感覚を育てています。

○2

日本最長の 直線線路

直線線路の長さ

総距離 **28.7 km**

白老町社台～苫小牧市沼ノ端駅間は「日本最長の直線線路」。
住宅地から海岸線を通り、競走馬の放牧風景を見ることができます。



近代しらおい年史

1856 安政3年

仙台藩が白老に元陣屋を設置
この年を本格的な開拓の年とする

1959 昭和34年

大昭和製紙(株)
白老工場建設着手

1983 昭和58年

道央自動車道
白老インターチェンジ開通

2001 平成13年

白老港第2商港区
公共中央1号上屋供用開始

2003 平成15年

森野小中学校閉校

1954 昭和29年

町制施行により白老町と改名
高橋県より黒毛和種肉牛を導入
白老⇄大滝間の村道が道道に昇格

1955 昭和30年

白老町役場庁舎新築落成
白老町開基100年記念
白老町章制定

1975 昭和50年

白老町民憲章制定

1984 昭和59年

町制施行30周年
白老町開基130年

1990 平成2年

地方港湾白老港開港
(漁港区の一部供用開始)

○本橋導入(マーク・スローガン決定)

1998 平成10年

主要道道
白老大滝線開通

2002 平成14年

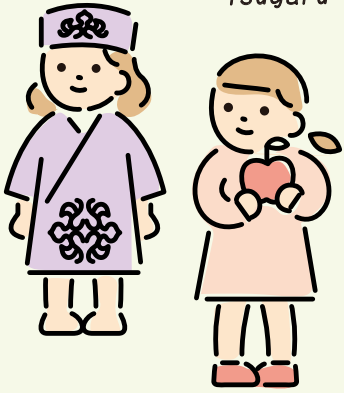
アイヌの伝統的生活空間
中核イオル誘致決定

2004 平成16年

町制施行50周年

Shiraoui

Tsugaru



平成17年7月31日提携

青森県 つがる市

白老町は平成3年に青森県森田村と姉妹都市提携を結び、りんご狩りツアーやイベントによる物産交流、相互の歴史・文化にふれる旅などを実施し、交流を深めてきました。森田村は平成17年2月に近隣4町村と合併して「つがる市」となり、同年7月31日に改めて同市と姉妹都市提携を締結。一層の友好関係を築いていくことになりました。

04



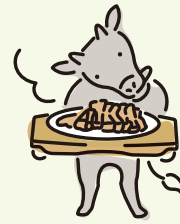
町立病院の建て替え

白老町では、令和6年度中に新病院の開院を予定しています。新病院には介護医療院が併設し、医療と介護機能を一体的に提供する施設として、また、津波災害から地域住民を守る高台機能を備えた施設として、現在、建設工事を進めています。この病院は、病気だけではなく、津波からも命を守る施設に生まれ変わります。



(外観イメージ図)

05



ふるさと納税

あなたの心の引き出しに「白老町」はありますか？住民税や所得税が一定限度まで控除できる「ふるさと納税」で、本町の食材など魅力をぜひご堪能ください。皆さまからいただいた寄附金は、町のさまざまなまちづくりへの取組みに有効活用させていただきます。また、返礼品として、町内で使用できる電子クーポンがもらえる旅先納税「ふるたびしらおい」も実施中です。

北海道白老町
ふるさと納税
特設サイト

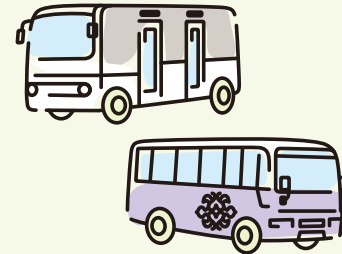


06 移住

夏は涼しく、冬の積雪が少ない過ごしやすい気候も魅力の1つで、北海道移住の入門編におすすめのまちです。町内には温泉も湧出しており、温泉付き住宅でおためし暮らしも体験できます。また、子育てを支援する施設もあり、家族での移住も安心です。詳しくは、しらおい町移住ポータルをご覧ください。



北海道
しらおい町
移住ポータル



白老町は交通網も充実しており、移動も楽ちん。JR北海道が運行する鉄道、高速道路、道南バスが運行する「路線バス」をはじめ、地域循環バス「元気号」、交流促進バス「ぐるぼん」、デマンドバス「カムイ号」など、町内の移動には欠かせない地域公共交通も充実しています。

07 公共交通

2008
平成20年
まきは保育園と
小嶋保育園を統合

2011
平成23年
天童陛下が
アイヌ民族博物館等を
行幸でご来町

2016
平成28年
社小、白小、緑丘小の3校を
統合し新白老小学校を開校

2018
平成30年
北海道胆振東部地震の発生
白老町で震度5弱

2021
令和3年
東京2020オリンピック聖火リレー
点火セレモニー
東京2020パラリンピック聖火リレー
採火式

2009
平成21年
たけのご保育園と
海の子保育園を統合

2013
平成25年
萩中、竹中、虎杖中の3校を
統合し白翔中学校を開校

2014
平成26年
国立アイヌ民族博物館・民族共生公園を
「民族共生象徴空間」として
2020年に公開することが決定

2020
令和2年
ウポポイ(民族共生象徴空間)
開業

2022
令和4年
史跡白老仙台遺跡が
北海道遺産に選定

SHIRAOI MAP

白老の主な名所や施設をピックアップ。
どこになにがあるのか？白老が見えてくるマップです。



先住民アイヌの伝承やアイヌ語の地名が数多く残る景勝地。縄文文化期からの遺跡も多数発見されています。



太平洋に面した高台にあり、日の出の時間帯には虎杖浜神社鳥居の真ん中から朝日が登る絶景が望めます。



「カムイワッカ」(アイヌ語で「神の水」と呼ばれる湧水スポットでは水汲み自由。秋には紅葉も楽しめます。



水質の湖沼部門で日本一に選ばれたこともある美しいカルデラ湖。登別方面から湖畔へ行けるルートがあります。



旧飛生小学校を活用したアーティストたちの共同アトリエ。秋には一般公開され、周辺の森と共に芸術祭の舞台となります。

登別市
Noboribetsu City
室蘭方面
← to Muroran

登別東IC
Noboribetsu-Higashi Interchange

アヨロ川
Ayoro River

登別駅
Noboribetsu Sta.

虎杖浜地区
Kojohama Area

虎杖浜駅
Kojohama Sta.

海産物ロード Seafood Road

竹浦駅
Takeura Sta.

北吉原駅
Kitayoshihara Sta.

太平洋
Pacific Ocean

北吉原・萩野地区
Kitayoshihara/Hagino Area

竹浦地区
Takeura Area

道央自動車道
Do-o Expressway

敷生川
Shikiu River

ウヨロ川
Uyoro River

F 萩の里自然公園



遊歩道や展望台があり、散策しながら自然観察が楽しめます。運が良ければ野生動物に出会えるかもしれません。

G ポロト湖



ポロト自然休養林の中にある淡水湖。夏季はレンタルカヌー、冬季はワカサギ釣りの体験ができます。

H 白老駅



ウポポイ開業に合わせて特急「北斗」も停車ようになりました。2022年にはJR東日本のクルーズトレイン「四季島」も停車しています。

石山地区
Ishiyama Area

86 伊達市(大滝区)方面
to Date (Otaki-ku)

四巻彩街道
Shikisai Road

白老川
Shiraoi River

白老IC
Shiraoi Interchange

ポロト自然休養林
Poroto Nature Park



仙台藩白老
元陣屋資料館
Sendai Clan, Shiraoi
Manor House Museum

白老・社台地区
Shiraoi/Shadai Area

ポロトの森
キャンプ場
Poroto Camping Ground



社台川
Shadai River

I インクラの滝



深い森から切り立った断崖へ水が流れ落ちる風景は迫力満点。日本の滝百選にも選ばれています。

J

ウポポイ(民族共生象徴空間)



先住民族アイヌの歴史や文化を知るならまずここへ。伝統芸能のステージや体験プログラムも多彩です。



桜ヶ丘運動公園
Sakuragaoka Sports Complex

ポント沼
Swamp Ponto

白老コミュニティセンター
Shiraoi Community Center

白老町役場
Shiraoi Town Hall

ふれあい広場
Fureai Sports Complex

白老アイヌ民族記念広場
Shiraoi Ainu Memorial Square

町立病院
Municipal Hospital

萩野駅
Hagino Sta.

白老港
Shiraoi Port

ヨコスト湿原
Yokosuto Marsh

社台駅
Shadai Sta.

苫小牧方面
to Tomakomai

北海道の南西部に位置する白老町。南には太平洋、北東部には樽前山、町の7割以上を占める森林とサケが遡上する豊かな川に恵まれた、自然豊かな町です。JR札幌駅から特急で約1時間、新千歳空港および苫小牧フェリーターミナルからいずれも車で約40分と、陸・空・海のアクセスは抜群。町名はアイヌ語の「シラウオイ(虻(あぶ)の多いところ)」に由来するといわれています。



北海道白老町

〒059-0995 北海道白老郡白老町大町1丁目1番1号
TEL.0144-82-2121(代表) FAX.0144-82-4391
www.town.shiraoi.hokkaido.jp
この冊子は令和4年度地方創生推進交付金を活用し作成しました。



しらおいファンクラブ

Shiraoi Fan Club

ふるさとしらおいの
ファンになりませんか？

"白老"を身近なものと感じていただけるコンテンツを用意しております。
←二次元バーコードからぜひ会員登録をお願いします!!
www.hokkaido-shiraoi.jp/fan/